

## APEC の食料安全保障に関する北京宣言（概要）

### 前文

- ・ アジア太平洋地域は世界の栄養不足人口の多くの割合を占めていることから、同地域にとって食料安全保障は極めて重要
- ・ APEC には、食料輸入エコノミーと食料輸出エコノミーの双方が存在しており、エコノミー間でより強い協力を構築することが地域及び世界の食料安全保障を強化する上で重要
- ・ 食料安全保障に関する新潟宣言は食料安全保障に貢献

### 1 . 持続可能な開発、イノベーション、科学技術、実現可能な経済環境を基礎とした農業生産性並びに食料生産及び入手可能性の向上

- ・ 農業科学や技術の進歩は、持続可能な農業及び食料生産の更なる促進のための努力の基礎
- ・ 生物多様性は、食料の入手可能性の確保において重要
- ・ 研究開発投資の促進、研究者の能力開発の強化による新技術、新品種及び新手法の開発を加速するイノベーションを促進する政策を支持
- ・ 気候変動への更なる適応及び災害に強い農業の実現が必要
- ・ 農業バイオテクノロジーは農業生産性の向上にとって重要。安全性研究の拡大、リスクに基づいた管理メカニズムの策定も重要
- ・ 農業生産の持続可能な増大に焦点をあてるべき
- ・ 小規模農家の農業活動を支援し、生産を増加させる農村の協同組合の援助に積極的に対処
- ・ フードバリューチェーンの国際的な構築を通じた農業の全般的な競争力を強化しつつ、農業生産性向上における取組強化のために作業

### 2 . フードロス削減のためのポストハーベスト・ロス管理の改善

- ・ コールドチェーンの技術の開発と利用の必要性を認識
- ・ 農業者・漁業者がフードバリューチェーンの構築を通じた食料貿易や付加価値加工による直接的な受益者となるコミュニティの構築を促進
- ・ 国際的に認められた基準との調和・整合を通じた食品安全管理の必要性を認識。生産、製造、流通を通じた食品品質を保証するための民間部門の責任と能力の強化を支援

- ・ バリューチェーンに沿った食品管理の向上、ポストハーベスト・ロス削減方法の開発における協力、食品ロス減少のための消費者意識向上の取組を奨励。
- ・ PPFS（食料安全保障政策パートナーシップ）によって策定された「APEC 食品基準と安全性の確保の連結性を強化するための行動計画」及び「APEC 食品ロス・廃棄削減計画」を歓迎

### 3．食料安全保障を促進するための地域協力の強化

- ・ 国際的な枠組みに基づく農業研究の促進、種苗開発における国際協力が重要
- ・ 越境性動植物疾病に関して、監視及び早期警戒の情報交換や人材育成を促進し、輸入及び輸出の食品安全に関する情報交換・協力を強化
- ・ 世界農業遺産（GIAHS）に関する FAO の取組を支援
- ・ 国際家族農業年に関する FAO の取組みに沿って家族農業を促進
- ・ 農業生産性の増加及び食料供給の効率を向上するため、国際的なフードバリューチェーンを開発
- ・ コールドチェーンのようなインフラ改良のための物流を担う官民の間で、協同・調整を強化すべきであることを認識
- ・ アジア太平洋食料安全保障情報プラットフォーム等を通じた情報交換を強化
- ・ PPFS を通じた食料安全保障政策の策定における官民協力を歓迎
- ・ APEC 地域における農業の貿易、投資の自由化・円滑化の重要性を再確認
- ・ 世界食料安全保障委員会（CFS）における「農業及びフードシステムにおける責任ある投資のための原則」に関する協議に留意
- ・ 特に主要食料を輸入に頼るエコノミーにおいて、食料輸出に係る禁輸その他の制限措置が食料価格の乱高下を生じうることを認識しつつ、APEC 首脳の保護主義に対するコミットメントを再確認
- ・ インドネシアのバリで 2013 年 12 月に開催された第 9 回 WTO 閣僚会議における農業に関連した成果を支持
- ・ 2020 年に向けた APEC 食料安全保障ロードマップ（2014 年版）及び APEC 食料安全保障ビジネス・プラン（2014 - 2020）を支持
- ・ APEC エコノミー間、フォーラム間での連携を強化

（以上）